

平成30年度生野区区政会議(第1回全体会)
 いただいた主なご意見・ご提言(要約)と区の考え方、対応

開催日:平成30年6月14日(木)

場所:生野区役所6階 大会議室

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
室谷委員	<p>【西部地域学校再編整備計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育こども委員会で「最終合意がないまま学校の統廃合の事例がなく、設計予算については保護者、地域の合意がなければ元に戻ることは認識しており、今後、最終合意を前提として協議を進めていく。」としているが、これに対してどう受け止めているか。 ・準備会が足並みがそろっていないところでどんどん進められているが、一旦立ち止まって考えてみるということが今の状況の中では大事なのではないか。 ・地域からの陳情書や集会の後など様々な形で一旦立ち止まってほしいという声が上がっているが、今の状況で本当に合意がなされていると考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計予算は、工事をするためではなく、あくまで設計をするための予算として計上しています。実際に合意をいただかなければ工事は進んでいかないと認識しておりますので、皆さんの意見を無視して進めているということではないのでご理解いただきたいと思います。 ・この間ご理解をいただきながら設置している準備会については、ご意見をいただく場ですので、引き続き進めていきたいと考えています。その後、学校整備計画の案をつかった上でまた説明をさせていただき、合意をさせていただくという形になるかと考えています。 ・現在はまだ学校設置協議会の準備会と言う段階で、ご意見をいただいているところですので、賛成、反対という形の合意を得た段階ではないと考えております。
猪股委員	<p>【西部地域学校再編整備計画について】</p> <p>当初、地域、PTA、保護者の方の意見がないまま4校存続、8校廃校・閉校の考えが出され、これは何年経っても変わっていない。しかし、避難所や通学路の問題、色々話し合われているが肝心要のところは触れてはいけなような準備会となっており、これは意味があるのかと前から思っている。</p> <p>また、昨年11月24日に、この整備計画案を進めてもらいたいという陳情書は12月の議会ですぐ採決されたが、3月5日のもう一度立ち止まって話し合おうという陳情書は今まだ継続審議の状況で、これは看過できない。</p> <p>再考してもらえよう検討してもらいたい。</p>	<p>—</p>
新井委員	<p>【西部地域学校再編整備計画について】</p> <p>将来的なことも本当に大切だが、学校現場では卒業遠足などに1校ではバスがチャーターできずに2校が合同で行く現状がある。今通っているこどもたちの事を考えると、ずるずる議論が続いていくことが本当に良いことだとは思わない。皆それぞれに思いはあると思うが、本当にこどもたちのことを考えていろいろ意見してもらいたいと思う。</p>	<p>—</p>

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
栗信委員	<p>【西部地域学校再編整備計画について】</p> <p>中学校へ行った際、人数が少なくて部活動を他の学校と合同でしていると聞いた。人数が少なくてやりたいことがやれないということは、その子たちの育成、目標が無くなってしまふことになる。それは大変なことだと実感した。</p> <p>地域で皆さんが言っていることは賛成も反対もしないが、本当にこどもたちに聞いているのか。こどもたちの意見を尊重して、それをもとに進めてもらいたいと思う。</p>	—
室谷委員	<p>【西部地域学校再編整備計画について】</p> <p>林寺地域で通学経路を回り、様々な危険箇所があることがわかった。通学が遠距離になると交通事故の危険性が高まる問題がある。</p>	—
亀田委員	<p>【西部地域学校再編整備計画について】</p> <p>学校再編と跡地活用は別々に委員会を立ち上げて話し合った方が話が早いのではないかと思う。</p>	<p>現在、ご提案いただいた内容で進めていこうと考えております。</p> <p>跡地についてはある程度準備会の中でもご意見をいただきますが、実際にそうなる場合は跡地活用の委員会は別にしっかり立ち上げますし、現在色々調査業務を行っております。</p>
亀田委員	<p>【西部地域学校再編整備計画について】</p> <p>学校の再編でこどもたちの通学距離が遠くなる等の意見をよく聞くが、安全面をきっちりすれば、通学距離等は慣れもあるし、体力づくりにもなるのではないか。</p>	—
森口委員	<p>まちづくりについて、区役所として生野区全体に対するまちづくりのイメージはあると思うが、例えば、正直、北鶴橋と巽東は状況が違う。そのあたりはどう思っているのか。</p>	<p>確かにエリアごとに特徴がありますので、小さなエリアでまちづくりを考えていき、また皆さんにも知恵を出してもらいながら進めていけたらと思っています。</p>
亀田委員	<p>「密集住宅市街地整備のための補助制度のご案内」ですが、新しい30年度版ができた場合、回覧板等で周知する予定はあるのか。</p>	<p>補助制度の詳しい内容はあまり知られていないと思うので、何らかの形で周知させていただきたいと思います。</p>